



ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNO'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT.No360

KYOJI HARA
C/O IIDA SHOKO-KAIKAN
TOKIWAMACHI, IIDA, NAGANO, JAPAN

No. 11 (APRIL 15, 1974)

昭和49年4月15日

第360地区 各ロータリークラブ

国際ロータリー第360地区ガバナー

会長並びに幹事殿

原 享 二

A Time for Action!
今こそ行動のとき


ウィリアムC. (Bill) カーター

ICGFに出席して

地区内7分区のICGFは、2月17日三河第2分区を皮切りに3月末迄に5分区を終了しました。各分区共、分区代理がリーダーとなり、ロータリー歴1、2年の会員を対照に、四大奉仕部門に就て、各パネリストの適切なプレゼンテーションと、アドバイザーの指導、助言を得て熱心に討議が行われ、新しい会員に対しては、多大のロータリーの情報提供の場でありました。

特に気付いた点をあげますと

1. 三河第2分区では、各奉仕部門のプレゼンテーションを多数のカラースライドを用いて行ない、そのナレーションも要領よく、視聴

覚に訴えたユニークな企画が、見事に成功した為に会員の発言も活発でありました。

2. 職業奉仕部門では、きびしい社会経済情勢を反映して、企業の社会的責任を追求するの余り、クラブとして対処すべきではないかとの発言もありましたが、クラブ定款第9条に明記してあるように、会員個人としては如何なる取るべき手段はあっても、ロータリーではクラブとしての意見は表明してはならないことになっております。

ポールハリスフェロー

このたび次の方々が、ポールハリスフェローとなられた旨、R Iから通知をいただきました。心からお祝い申し上げるとともに、ご貢献を感謝いたします。

地区第101号 吉田 市郎君 (名古屋)
地区第102号 太田 一造君 (刈谷)
地区第103号 加藤 正平君 (刈谷)
地区第104号 豊田 源吉君 (刈谷)
地区第105号 田中 清隆君 (あま)

米 山 功 労 者

このたび次の方が、米山記念奨学会へ特別寄付(30万円)をされ“米山功労者”の称号が贈られた旨、財団法人ロータリー米山記念奨学会塩原禎三事務局長より通知をいただきました。

心からお祝い申し上げるとともに、ご貢献を感謝いたします。尚、表彰は、今秋の地区大会の折にいたしたいと思います。

地区第3号 成田 竹蔵君 (豊橋)

尾張第二分区 I C G F 開催

3月17日(日)、尾張第二分区の I C G F が開催されました。ホストは春日井R Cで、春日井商工会館の大会議室には、分区12R Cから210名余が参集し、小春日和の一日、熱心に勉強をされました。

分区代理篠田リーダーが、出席者名簿を見なが

ら手際よく次々に新入会員に指名されて、多くの方々から発言を求められたため、終始、生氣にあふれ、興味と楽しさが伴って、参加者一同大いに満足をしました。

尚、アドバイザーとして出席された神野P G、佐藤P Gより適切な助言をいただき、また各パネリストの簡にして明なるプレゼンテーション等、会をより以上盛り上げて下さいました。篠田分区代理及びホスト春日井R Cに感謝いたします。

三河第一分区 I C G F 開催

ホストの渥美R Cでは、中尾分区代理の適切な英断により、この燃料事情の悪い時に、交通不便な渥美まで、マイカーを連らねて参集して頂くのは時局を辨まえぬことと反省し、公共輸送機関の便の良い所、即ち豊橋市内に会場設営を計画され尚、暖房用燃料のいらない時期にと、当初の2月24日(日)を延ばして3月31日(日)に変更し、はるばる遠隔地より開催準備をされたご労苦と、時宜に適した処置に、深其の敬意を表します。

当日は、分区内9R Cより参集の210名余の多数の会員が、さしもの豊橋商工会館の大ホールを埋めつくし、大盛況をきわめました。

各部門冒頭における、各パネリストの実に行き届いたプレゼンテーションは、出席者全員に深い感銘を与へ、血となり肉となったことと信じます。そして特別出席されたアドバイザーの伊藤P G、神野P Gからは、ロータリーの真髄に触れるよい助言を頂き、一同満足されたことと思います。中尾分区代理、ホスト渥美R C及び会場提供に尽力された豊橋R Cに感謝いたします。

地区協議会の役員ご紹介

6月22、23日に開催の地区協議会におけるグループ別研究会の各役員を、次のようにご委嘱いたしましたので紹介します。

1. クラブ会長

リ　ー　ダ　ー　次期ガバナー

鮫谷賢太郎（名古屋）

ガバナーノミニー候補

山田市三郎（名古屋南）

アドバイザー　ガバナー

原　享二（飯　田）

2. クラブ幹事

リ　ー　ダ　ー　地区幹事

後藤　新三（飯　田）

アシスタントリーダー　次期地区幹事

楠　仙三（名古屋）

アドバイザー　パストガバナー

神野　太郎（豊　橋）

3. クラブ奉仕

リ　ー　ダ　ー　尾張第一分区代理

伊藤　長一（名古屋西）

アシスタントリーダー　南信第一分区代理

林　　太郎（岡　　谷）

アドバイザー　パストガバナー

滝沢　卓夫（松　　本）

4. 職業奉仕

リ　ー　ダ　ー　三河第二分区代理

植松唯四郎（碧　　南）

アドバイザー　パストガバナー

伊藤次郎左衛門（名古屋）

5. 社会奉仕

リ　ー　ダ　ー　尾張第二分区代理

篠田　　功（稲　　沢）

アシスタントリーダー　東北信分区代理

田中　楠雄（戸倉上山田）

アドバイザー　パストガバナー

内藤卯三郎（岡　　崎）

6. 国際奉仕

リ　ー　ダ　ー　三河第一分区代理

中尾　十郎（豊　　川）

アシスタントリーダー　地区研究グループ交換委員

酒井　　博（駒　ケ　根）

アドバイザー　パストガバナー

安野　謙次（一　　宮）

7. ロータリー財団

リ　ー　ダ　ー　南信第二分区代理

中島賢二郎（飯　田　南）

アドバイザー　パストガバナー

近藤友右衛門（名古屋）

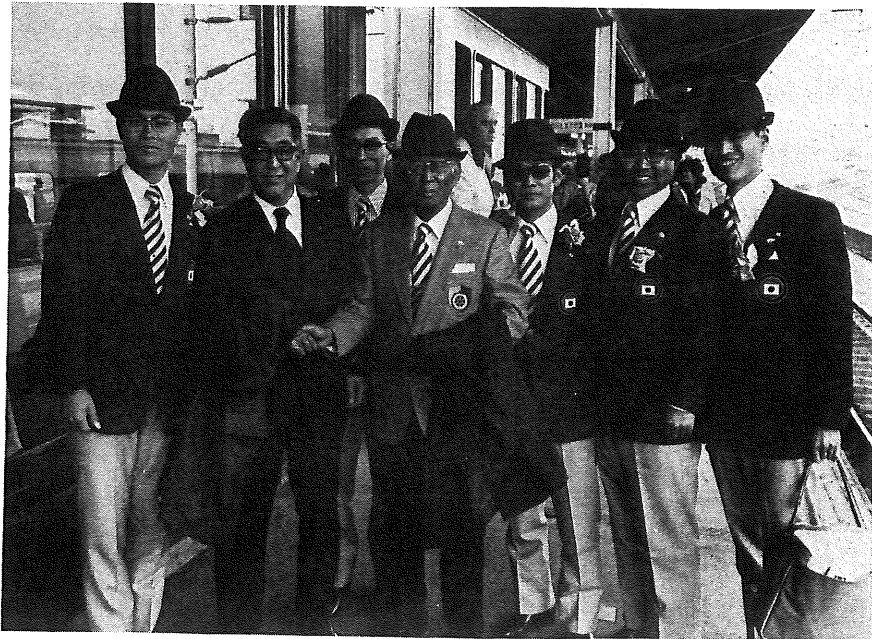
8. 広報

リ　ー　ダ　ー　地区広報委員長

鈴木敏三郎（名古屋南）

アドバイザー　パストガバナー

佐藤　知雄（名古屋東）



3月20日 名古屋駅にて

G S E 渡米便り

ロータリー財団研究グループ交換海外派遣チームの鮎谷ガバナー代表ほか5名のメンバーは、去る3月20日、午後4時30分全員無事羽田を出発しました。5月4日の帰国まで45日間、米国フロリダ州第695地区を中心に、各地の社会施設ならびに生活様式を視察して、国際理解と友情を深めるわけであります。

尚、出発に先だち3月19日、名鉄グランドホテルに於て、地区役員、関係分区代理及びホストRC会長の方々により壮行会が行われました。

次に、最近まいりました鮎谷ガバナー代表の便

りをご披露いたします。

当地に到着以来、全く想像以上の心のこもった歓迎を毎日受けながら、団員一同元気に10日を過ごしました。ビルの心づかいは、全く頭が下がります。友情の権化のように、訪問する各地には先遣隊が待ちかまえていて、私達の面倒を見てくれます。昨夜も、ベースボール見物に全員がバンナーポップの先導で出かけましたが、試合の始まる前にメジャーリーグで有名なプレーヤーであるボストン・レッド・ソックスの外野手ヤスモレスクから、団員1人1人に署名入りのミットと記念

品を観衆の拍手を受けながらもらいました。これもビルの準備した予定行事でした。一昨日は、ディズニー・ワールドの見物に、一日を楽しく過ごしましたが、ロータリーの威力は大したもので、色々のショーに座る場所は「予約席」で、一番良い席に座らせてもらいました。若い団員は、全員この威力をひしひしと感じて、ロータリーとはこんなに力のある組織とは想像しなかったようで、驚嘆の声をあげております。ビルの心づかいの例を一つだけあげますと、私はじめ団員がなれていない毎日の食事にあきて来ただろうと「カップヌードル（インスタント・ラーメン）」を、各員にくれました。また昨年日本へ来ました5名の中のジムは、私達のためにミニバスを提供してくれまして、それに乗って私共は、予定の訪問を行っております。そのバスには、必ずロータリーのメンバーが交代でドライブしてくれ、護衛に必ず一、二台の乗用車がついているという状態です。団員全員の感想をまとめますと、「アメリカの人達の寛大さ、人情がこんなに細かいとは、夢にも思わなかった」の一言で、よくわかり頂だけることと思います。実に嬉しいことは、団員1人1人が私が最初心配していたような「委縮さ」が無く、よく話し、私を中心に思い切りはがらかに英語を話してくれていることです。会合、例会、国際奉仕委員会等では、私が挨拶を全部引き受けてやっていますが、何処でも彼等は、自分達の責任を感じ乍らよく助けてくれます。……（以下略）

3月31日朝 鮎谷賢太郎

世界社会奉仕委員会報告

3月5日13時より、名古屋観光ホテルに於て委員会が開かれました。鮎谷委員長より上半期に於ける奉仕活動状況の報告があり、次いで本年度下半期のため下記の援助活動が決定されました。

1. Project 685

印度 Poona West RC より要請の、同地ローターアクトが開設の貧困者のためのメディカル・センターへ、顕微鏡1台分としてUS\$270を援助。

2. Project 767

比国 East Davao RC より要請の、同地に於て1万人の貧民窟で、修道女シスター・アラリーが運営されている、ファチマ・コミュニティ・センターへ、US\$300を援助。

3. 軽井沢RCに集中している、バングラディッシュ困窮者へ送られる古衣料15箱の運送費を当委員会で負担する。

4. 軽井沢RCで保管している古カミソリ刃、石齡200ヶを、ニューギニアの貧民へ贈る運送費を、当委員会で負担する。

尚、地区内の他クラブが、本部へ援助資料を要求した援助活動の状況について近日中に調査を行なう。

ガールスカウト・アジア太平洋

国際キャンプ開催に協力お願い

去る3月21日、松本に於ける幹事研究会の席上で、お願いしました首題の件について、重ねてお願いいたします。

1. ジャンボリー

期 日 8月1日～8日

場 所 長野市外戸隠高原

参加者 太平洋地域のガールスカウト

約4000名

2. ご協力費

イ、長野RC、長野東RCは25万円

ロ、ガールスカウトのあるRCは2万円

ハ、愛知、長野両県下の各RCは1万円

上記の通り、何とぞ協力下さるようお願いいたします。尚、ご協力費は本年5月末までに当ガバナー事務所宛ご送金下されば幸甚に存じます。

〔振込先〕 八十二銀行飯田支店

普通預金口座 №223-194

国際ロータリー第360地区ガバナー原享二

顔写真送付のお願い

ロータリーの友編集事務所より、次のように依頼がありました。まだ御送りしていないクラブは至急ご送付のほどお願いします。

「友」では、例年の如く、新会長、幹事の顔写真を別刷にして、新年度の「友」近刊号に添付する予定で、現在各クラブより顔写真を集めております。併し、その集まりが悪く、発行が出来る恐れがありますので、各ク

ラブ宛に早く送って下さるよう、ご連絡いただければ幸甚と存じます……。

「ロータリーの友」購読料について

ロータリーの友委員会（委員長神守源一郎）では、諸般の事情にかがみ、「友」誌購読料を改訂すべきか否かについて、先般来より、専門委員会において慎重に検討を続け、更に地区委員会に諮って参りました。

ご高承の如く、近来用紙代、印刷代、発送費その他の費用の騰貴著しく、このため「友」誌の経理も次第に苦しくなってきましたが、物価騰貴を抑制すべしとの現在の社会情勢を顧みると、軽々に誌代の値上げを行なうべきではないと考え、このたび「友」誌購読料は少なくとも本年12月末まで、現行定価1部110円也を堅持する方針を決定されました。

各クラブが、次年度予算編成上の都合もあることと存じますので、この旨お知らせいたします。

お 答 え

去る3月21日、松本に於ける幹事研究会にて名古屋南RCよりのご質問“理事会によって出席に関する諸条件を充たすことを免除された会員の数は、RI報告の出席率計算に当って、本クラブ会員数から外すかどうか……”に対して、次の通りお答えします。

“標準クラブ定款、第8条第5節イ、(ニ)(手続要覧294頁)に記載されている通り、免除された会員の数は算入いたしません。”

事務総長書翰の抜すい

そ の 1

(3月6日付)

1. 親愛なるロータリアン各位

真理を探究するのに人間はいろいろな道をたどります。その多種多様な真理探究の課程は、それぞれの精神的な素養、訓練によって決定づけられるものであります。けれど人間が探し求めて見出す真理は、その用語にこそ多種多様の違いはあっても、究極の結論において同一であることが多いのであります。東洋では、古い中国のことわざに「真理を知ることは易しくても、それに従うとなると、これほど難しいことはない」というのがあります。それが西洋にいきますと、フランスの哲学者 Etienne Gilson は、「真理を見出すのは、困難なことではない、何が難しいかと言えば一旦、見出したならばその真理から脱却しないようにすることである」と述べていますように、同じ一つの公然の理でもその表現が違います。

1973年国際大会での講演で、ビル・カーター会長は、いずれの時代にあっても、その時代の試練というものがあることは確かながら、現在の世の中は正しく試練の最中にあると述べられました。その今の時代がロータリアン各位に求めているのは、「利己主義の時代」とも定義され得る時代であって「超我の奉仕」に基いて生きることな

のであります。そしてカーター会長は、「人間は各自自身のためにのみ生きているのではない」とを指摘し、この真理を考察して、「たとえ他の人々は我々と歩みを共にしようとしても、しなくても」ロータリアン各位が会長と手に手つないでロータリーの道を歩むことを要請しておられるのであります。奉仕の真理を知ることは易しくてもこの真理を行動に移すことは容易なことではないのであります。

2. 1974年ロータリー研究会での議案まとまる

既に二、三カ月前の本書翰にてもお知らせ申し上げました通り、国際ロータリーの現任、並び元役員のためのロータリー研究会は、1974年国際協議会と同時に同じ場所、即ち米国ニューヨーク州レーク・プラシッドのクラブ・ハウスにて開催されます。同研究会の会合は、全部、同クラブ・ハウス内のレーク・ハウスにて行なわれます。

研究会議案委員会の委員長である、米国ミネソタ州ファーガス・フォールス・クラブの G・Robert Allison 元 R I 理事が、ビル・カーター会長より同研究会の司会者に任命されました。

議案委員会では、今日の課題を含み、活発な討論、意見の交換をする機会を提起するような議案を起草いたしております。その議案集が本書翰に同封してあります。

3. ミネアポリス～セント・ポール大会で

職業別協議会

米国、ミネソタ州ミネアポリス～セント・ポールでの国際大会は、1974年6月9～13日に開催されます。毎年の国際大会で最も人気のある大会行事の一つは職業別協議会であります。多くのロータリアンが職業別協議会を国際大会での体験のうちでも最も有益なものとしております。

1974年国際大会における55の職業別協議会は、各種事業、専門職業などの職業分類をもって区別されます。類似の職業をもつロータリアンが職業別に会合し、職業奉仕の原則が各自の職業生活にどんな影響をもたらしているかについて意見を交換し合う機会なのです。職業別協議会は、また、同類の職業に従事し、職業生活に共通したものをもつ世界各国の朋友ロータリアンと知己を深める機会ともなります。今年の職業別協議会は6月12日（水）午後2時半から4時半までと予定されています。

4. 四つのテスト：今こそ行動のとき

ビル・カーター会長は、全クラブに対するメッセージで、各自の職業人としての生活の質を向上させることによって、真実を行動の上に表わすことを全ロータリアンに要請されました。

長年にわたって、四つのテストは、世界中のロ

ータリアンの心に深く銘記されております。これが真実ならば、何故、既に全ロータリアンに受容されているものを今更のように強調しなければならないのでしょうか。その答は、カーター会長のテーマ、「今こそ行動のとき」にあるのであります。

四つのテストは、私達の机の上に、或いは壁に、或いはクラブ会報に掲げられ、毎日、私達の目の前にあっても、その親しまれた字句の意義が薄らいでいく危険があるのです。

そこで各クラブでは、四つのテストに基くプログラムを行ない、四つのテストを中心に活動することができます。四つのテストを日常、職場で適用している会員は、その成果を語り、体験を他のクラブ会員と共に分かち合うことができます。区域内の学校から討論チームを例会に招待して四つのテストについて討論させることも一案です。世界各地のクラブが四つのテストを学校や地域社会、又、各自の職場で、どのように適用しているかを記載したパンフレット第502号四つのテストの適用（1部に付90円）を入手して活用することを全クラブに奨励して下さい。

5. 広報と会員増強を推進するスライド・セット

各クラブでのプログラム用として、二つの新しいスライドセットが準備されております。その一つは、“相違が生じるか”と題する、16分間のセ

ットでクラブレベルにおける広報の方法と成果を説明するものです。もう一つの“それはあなたに始まる”は、会員の増強、育成についてのアイデアを解説したものです。双方共、英語、フランス語、スペイン語、日本語、及びポルトガル語の各国語版がありカセット、台本、討論指針が付いております。注文用紙はR Iニュースの1月号、2月号、及び3月号に同封されますので、これらのスライドセットを購入して、各クラブでのプログラムに活用することを地区内全クラブへ奨励して下さい。

6. 移転ロータリアンの通知状を

活用しましょう

ロータリアンの中には、仕事の関係で他の地域へ転居しなければならなくなることがある方が、多数おられます。でも転居先の地域でクラブ会員となり、ロータリアンとして活動し続けることができる方々もあります。その場合の多くは、もと属していたクラブの幹事が気を付けて、移転先の地域にあるクラブ幹事へ、「貴地域社会へ移転するロータリアンに関する通知状」(第6464号)を送付したから、それができたのです。

貴地区内の各クラブ幹事へも、この通知状を出すことを一つの慣習にするように要請して下さい。引退、移転による会員の喪失を相殺する方法ともなるのであります。

7. ザ・ロータリアン誌4月号:

環境諮問委員長のメッセージを掲載

国際ロータリーの環境調査並びに方策諮問委員会の Charles Simeons 委員長は、ザ・ロータリアン誌の4月号に“Recycling our World”と題する記事を寄稿し、大気と水の汚染を解決する方法を提案しておられます。元地区ガバナーであり、英国下院議員である同委員長はミネアポリス〜セント・ポールにおける1974年国際大会にて、大会参加者へ、この問題の解決法につき講演されることになっております。

同じく4月号には、“Good News From Space : It's a Small World”と題する L. B. Taylor, Jr.氏寄稿の記事が掲載されます。全人類の福祉をはかる宇宙開発事業は、世界各国が大気圏外より地球を探索する事業に協力し合うことにより、大小、強弱の国々を結束するものともなっているのであります。

8. ロータリーが必要な“イエス・マン”

カナダ・オンタリオ州、ウィンザー・ロータリー・クラブの会報編集者が“イエス・マン”(“Yes-Man”)について、新しい解釈をしています。“イエス・マン”と言えば、普通、上役や雇主の言いなりになることが出世の道だと信じているような人を評した言葉です。しかし“イ

イエス・マン”には「地域のリーダーであり、推進者であり、実行力のある立派な市民である」もう一つの型があります。「その人は奉仕をモットーとする立派に成功した事業家なのです」

この後者に属する“イエス・マン”は、地域の福祉に、教育施設に、環境問題に、そしてその地域の市民たることに関心を持ち、誇りをもっている人なのです。改善を要することがあるときに、卒先して、その改革に着手するのは、このタイプの“イエス・マン”です。彼は、「ものごとを為し遂げる能力に自信のある利己的でない人」なのです。

各種の有意義な活動を推進するため、ロータリーはこのタイプの“イエス・マン”を必要としています。

9. 世界のロータリー

1974年2月26日現在、ロータリーは150の国、及び地理的地域に15,902のロータリークラブと、約748,250人のロータリアンを有します。1973年7月1日以降、26カ国より169の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

そ の 2

(4月2日付)

1. 親愛なるロータリアン各位

近代人が有する、自分の身分を確立しようとする性格が、人間の習性を研究する科学者や哲学者によって分析研究されました。そして、これらの科学者達により、人間は、その人が何者であるかというよりは、むしろ、何をする者であるか、ということによって己を知るものであることが発見されたのであります。故に「私は……であります」という場合に、普通、その人の職業を意味する字句が挿入されるのであります。そうして見ますとポール・ハリスは、各種の職業を基盤とするクラブをつくるアイディアを発想したとき、既に人間生活に重大な意義をもつ、その要素に直接触れていたことが判るのであります。

ロータリーの創設以来、次第に発展している職業奉仕は、誠実と高い道徳的水準を真髄とし、各ロータリアンが日常の職業生活において実践し、社会への奉仕の向上を目標とする理想であります。このわれらの理想を念頭に置き、ビル・カーター会長は、今年、全ロータリアンが、「職業人としての質の向上をはかる」ことを要請されたのであります。更に会長は、「あなたの同業者に、なによりも完璧なサービスや、よい製品の提供を最優先するよう説得するために、最善の努力を注ぐ一正当な報いはおのずから伴うものとして」と述べておられます。今こそその会長の要請を検討し、例会プログラムにおいて、特にこの点を研究する

ための例会プログラムを企画して討議することを全ロータリークラブへ要請する時ではないでしょうか。職業奉仕に関することについての健全な問答がわれわれのロータリー会合に欠けていることが多く、従ってロータリー独特の会員制度が十分に理解され、活用されておらないことがあります。職業奉仕：実践することです。しかしもっと積極的に説得に乗り出すためには、それを分かち合うことであります。

2. 環境保全活動のニュースを求む

本書翰の2月号にて、ビル・カーター会長が環境調査並びに方策諮問委員会を任命されたことをお知らせいたしました。このほど、同委員会の Charles P. Simeons 委員長(英国)は、下記のように全地区ガバナーの協力を要請されました。

「私達が本分野の活動を推進するには、通信連絡を必要とします。就いては貴地区内各クラブの本活動分野に対する見解を聴取し、それを要約し、そして有益な活動を創案実施しているクラブがあれば他のクラブへも紹介するために、そのクラブ名と活動についてご報告頂きたいのであります。そして貴国が英国、アルゼンチン、カナダ、フランス、日本、ニュージーランドの一つに当り、本委員会委員がおられる場合には、その要約書を貴国在の委員に送付し、その他の方々は直接私宛にご送付願います。」

斉木亀治郎：兵庫県姫路市延末8 1 〒670

3. ロータリーの伸展を約す新クラブの結成

これまでの各年度の記録によりますと、毎年、この頃になると新クラブを結成する活動が盛んになり、そして、ロータリー年度の終りに近づくにつれ、その度合が増大して来ることを示しております。貴殿の年度には、まだ2カ月以上の期間が残っており、今から着手されても、貴殿の年度が終了するまでに、一つや二つの新クラブを結成し、加盟させることはできるのであります。たとえ、そのクラブが7月1日が過ぎるまで国際ロータリーに加盟できなかったとしても、その結成活動を貴殿が着手されたということは、大きな喜びをもたらすものとなります。目標は、ロータリーにおける高度の水準を保ち、できるだけ多くの地域社会の、できるだけ多くの有資格者と共にロータリー会員の特典を分かち合うことにあるのであります。

4. 新クラブへロータリー財団の目的を説明

新クラブは地区ガバナー並びにその特別代表にとってロータリー財団の新しい支持者を育成する新開地であります。新クラブの会員各位に、ロータリー財団の国際理解の増進をはかる目的や、その奨学金プログラム、その業績などを説明されるならば、そのクラブ最初の財団寄付金を募ることになるかも知れません。

また、その新クラブが所属する地区内の隣接クラブが新クラブの加盟を祝して新クラブの名義で財団へ寄付され、かくして、多数の新クラブが

100%、中には200%、ロータリー財団クラブとして、ロータリー活動を開始された例も多々あるのであります。

尚、仮クラブや新クラブの会員諸氏と財団について協議される折には、必ずロータリー財団への寄付はすべて自発的にするものである点を強調されなければなりません。

5. 伸展するインターアクトとローターアクト

1973年7月1日より1974年3月12日までの期間中にインターアクト・クラブ数は125の純増を記録しました。これにより68カ国280地区に存在するインターアクト・クラブの総数は3,200に達しました。会員数は70,400人と推定されます。

一方、ローターアクト・クラブは同じ期間に160の増加を示しており、今や59カ国の220の地区に、1,797のローターアクト・クラブがあり、会員総数は35,940人と推定されております。貴地区内のクラブにて、まだこの分野の活動を行っていないクラブがある場合には、ロータリーの感化を若い世代の人々に広げる方法として、インターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブを提唱するにつき、真剣に考慮することを要請して下さい。

6. ザ・ロータリアン誌5月号を彩る特集記事

Val R. Hawes氏寄稿の“Gentlemen, Start Your Propane Burners”は、“熱い空気”の英雄達が演ずる、観衆をはらはらせる、無鉄砲でスリル満点のスポーツ、気球乗りについての記事です。

“Thomas Fleming氏筆”The Cable That Crossed the Atlantic”はアイルランドと北アメリカ大陸を結ぶ最初の海底ケーブルを敷設するのに、大西洋の荒海と戦い、どん

なに苦労したかそのときの模様を物語る記事です。

1974年ミネアポリス〜セント・ポール国際大会の大会委員会委員長、Charles H. Miller氏寄稿の“Minnesota Bids Us Welcome”は、1974年国際大会をロータリー史上で最もすぐれた国際大会の一つとするべく、進められている大々的な準備計画を述べられたものです。

7. 熱意がもたらす奉仕の喜び

ロータリークラブ会長の一人は、世界社会奉仕計画がロータリークラブに新鮮な志気を注入し、個々のロータリアンの活動に新次元を加えるものとなると、次のように述べておられます：「国際奉仕部門の本計画に参加した結果、当クラブの会員の間に活気を吹き込み、今日では、この国際奉仕部門が、これまでに当クラブで経験したことのない、著しい熱意をもって考慮されるようになりました。

クラブの中には、世界社会奉仕計画に着手するように督励を要するクラブがあるかも知れませんが、本計画がもたらす奉仕の喜びはその努力に価するものであります。貴殿の後継者並びに彼の世界社会奉仕委員長がこの重要な分野において、他に先んじて活動に乗り出すのに役立つような、見識と資料を提供し、奨励して下さい。

8. 世界のロータリー

1974年3月26日現在、ロータリーは、150の国及び地理的地域に、15,931のロータリー・クラブと約74万9千人のロータリアンを有します。1973年7月1日以降、31カ国より203の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

第360地区 財団寄付金一覧表

(1974. 2. 28 現在)

(単位ドル)

クラブ名	歴 年 数	会 員 数 12/72	本 年 度 累 計 (usドル)	寄 付 額 累 計 (usドル)	順 位 %	次 の 順 位 へ の 必 要 額	クラブ名	歴 年 数	会 員 数 12/72	本 年 度 累 計 (usドル)	寄 付 額 累 計 (usドル)	順 位 %	次 の 順 位 へ の 必 要 額
あ ま	4	55	1,906.42	4,713.98	800	236.02	名古屋中	4	64	424.62	7,340.72	1,100	339.28
安 城	16	53	845.00	3,220.02	600	489.98	名古屋北	14	86	11,124.05	29,397.25	3,400	702.75
渥 美	4	33		708.24	200	281.76	名古屋南	17	107	1,245.04	15,195.83	1,400	854.17
尾 西	18	39	79.99	1,725.79	400	224.21	名古屋東南	4	69	448.03	4,212.78	600	617.22
富 士 見		25				250.00	名古屋和合	1	39	1,179.00	1,968.05	500	371.95
蒲 郡	19	64	486.77	3,295.26	500	544.74	名古屋西	20	130	1,103.60	9,143.53	700	1,256.47
半 田	22	66	1,124.19	3,644.74	500	315.26	中 野	1	26	71.99	392.02	100	127.98
碧 南	14	63	6,496.67	9,525.27	1,500	554.73	西 尾	13	50	1,080.00	4,829.32	900	170.68
東 浦	4	41	230.09	1,197.35	200	32.65	岡 谷	14	43	193.98	1,771.25	400	378.75
一 宮	24	78	193.00	4,190.20	500	489.80	岡 崎	22	68	2,174.91	17,655.54	2,500	24.46
一 宮 北	10	62	140.00	3,542.85	600	797.15	岡 崎 東		26	205.99	205.99		54.01
飯 田	17	65	1,489.26	4,207.18	600	342.82	岡 崎 南	9	58	746.80	4,541.81	700	98.19
飯 田 南	7	56	161.70	1,916.27	300	323.73	奥 三 河	3	31	288.99	1,456.79	400	93.21
飯 島	8	27	250.22	1,113.45	400	236.55	大 町	10	44	126.00	915.93	200	404.07
伊 那	14	59	552.06	1,785.02	300	574.98	尾 張 旭	3	33	869.08	1,728.80	500	251.20
稲 沢	10	42	1,044.83	3,610.38	800	169.62	名古屋港	7	84	1,624.33	14,740.61	1,700	379.39
犬 山	12	64	639.35	4,344.29	600	135.71	瀬 戸	14	59	1,169.00	5,191.20	800	118.80
一 色	11	39	40.00	1,374.58	400	575.42	新 城	6	35	73.48	999.03	200	50.97
刈 谷	20	55		2,521.16	600	1,328.84	諏 訪	16	52		1,587.94	300	492.06
軽 井 沢	9	32		2,813.28	900	386.72	田 原	12	49	79.91	3,085.92	600	344.08
春 日 井	4	71	710.08	2,830.33	400	719.67	高 浜	5	50		2,211.04	500	788.96
木 曾	4	39	1,334.77	2,563.90	600	166.10	辰 野	10	34	3,200.00	3,856.24	1,100	223.76
駒 ケ 根	14	59	706.04	3,911.36	600	218.64	戸倉上山田	7	28	301.62	965.65	300	154.35
小 牧	6	45	705.07	2,751.87	600	398.13	東 海	4	40	276.08	1,613.88	400	386.12
小 諸	10	46	3,585.30	7,753.06	1,600	66.94	常 滑	7	48	664.85	3,014.81	600	345.19
江 南	8	46	136.00	1,714.87	400	585.13	豊 橋	23	86	742.26	21,089.61	2,400	460.39
丸 子	10	30	1,000.00	1,578.73	500	221.27	豊 橋 北	16	82	3,085.77	9,692.96	1,100	147.04
松 川	5	31	620.01	1,085.14	300	154.86	豊 橋 南	7	47	1,772.51	6,537.88	1,300	42.12
松 本	17	74	183.00	3,207.76	400	492.24	豊 川	15	54	349.00	3,359.93	600	420.07
松 本 南	13	74	868.02	4,635.61	600	544.39	豊 田	13	72	1,905.76	8,274.87	1,100	365.13
松本西南	1	20	28.00	398.97	100	1.03	豊 田 西	3	49	134.98	634.99	100	345.01
長 野	11	63	518.89	2,597.15	400	552.85	津 島	20	65	169.00	3,511.59	500	388.41
長 野 東	7	59		2,357.99	400	592.01	上 田	15	53	173.00	3,806.82	700	433.18
名 古 屋	50	204	3,371.42	28,949.49	1,400	1,650.51							
名古屋東	14	77	819.39	6,296.53	800	633.47	合 計		3,884	69,639.67	334,502.64		
名古屋守山	10	67	2,420.55	7,527.52	1,100	512.48	平 均	11				700	

3 月 出 席 率 (49年4月10日調)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前月順位	前会員数	増減
1	飯田	59	100	5	1	59	
1	豊橋	85	100	4	9	84	+1
1	駒ヶ	62	100	4	1	62	
1	犬西	61	100	4	1	61	
1	名古	61	100	4	60	61	
1	名古	46	100	4	1	46	
1	岡辰	46	100	4	10	42	+4
1	井屋	43	100	4	1	43	
1	豊古	32	100	4	1	32	
1	豊古	70	100	3	13	70	
11	豊古	49	99.49	4	12	49	
12	一宮	67	99.40	5	16	66	+1
13	古	95	99.37	5	8	93	+2
14	古	99	99.23	3	21	96	+3
15	尾張	40	99.05	5	24	39	+1
16	尾張	64	98.83	4	29	64	
17	本	79	98.72	4	15	79	
18	本	66	98.71	5	26	65	+1
19	春日	71	98.57	5	22	69	+2
20	古	67	98.51	4	25	67	
21	古	104	98.49	4	34	104	
22	古	80	98.43	4	1	79	+1
23	古	61	98.36	4	30	61	
24	古	80	98.34	3	19	81	-1
25	伊	60	98.33	3	20	60	
26	伊	56	98.21	4	28	56	
27	飯古	64	98.04	4	35	66	-2
28	飯古	135	97.97	3	31	130	+5
29	飯古	92	97.86	5	23	92	
30	飯古	45	97.82	5	27	46	-1
31	飯古	57	97.81	4	46	57	
32	飯古	75	97.76	4	14	75	
33	飯古	55	97.72	4	11	55	
34	飯古	52	97.54	4	18	50	+2
35	飯古	72	97.14	3	33	73	-1
36	飯古	61	97.05	4	38	63	-2
37	飯古	43	96.90	3	46	43	
38	飯古	71	96.60	5	42	70	+1
39	飯古	72	96.51	4	17	71	+1
40	飯古	56	96.33	5	32	57	-1
41	飯古	67	96.32	5	37	68	-1
42	飯古	54	96.15	4	41	54	
43	飯古	51	96.13	4	43	51	
44	飯古	49	95.89	3	51	48	+1

平均出席率 95.72%

45	東	海	44	95.55	4	39	45	-1
46	半	宮	82	95.47	5	36	82	
47	飯	田	66	95.31	3	57	65	+1
48	本	島	29	94.94	4	39	30	-1
49	松	南	34	94.85	4	48	31	+3
50	奥	河	33	94.54	5	63	33	
51	渥	美	38	94.08	4	61	38	
52	小	諸	50	94.00	5	52	50	
53	高	浜	41	93.13	4	45	41	
54	長	野	69	92.98	4	54	67	+2
55	古	屋	224	92.96	4	56	222	+2
56	松	川	34	92.16	3	49	34	
57	岡	東	40	91.67	3	53	40	
58	常	滑	50	91.60	5	50	50	
59	大	町	61	90.98	4	44	61	
60	新	城	35	90.85	5	62	35	
61	諏	訪	52	90.76	5	57	52	
62	戸	山	29	90.34	5	68	29	
63	東	浦	41	90.24	5	55	41	
64	木	曾	39	89.61	4	59	39	
65	中	野	33	86.87	3	66	33	
66	上	西	59	86.64	4	67	59	
67	尾	子	40	85.62	4	65	40	
68	丸	見	34	84.36	3	64	34	
69	富	士	28	77.49	3	69	28	

会員数合計 4,159名 純増 23名 (累計 160名)

例会場の電話番号変更

・豊橋南RC (4月10日より)

新電話 0532 (45) 9642

事務所移転

・丸子RC (4月1日より)

新事務所 長野県小県郡丸子町沢田372

あげはや商店内

TEL 02684(2) 2496

・常滑RC (7月1日より)

新事務所 常滑市字扇面新田中119の2

常滑通運内

TEL 05693(5) 2880

訂正のおわび

ガバナー月信第10号の

○ 6頁7行目

Erenesto → Ernesto

○ 13頁10行目

一宮14 → 一宮24

とご訂正のほどお願いいたします。

敬 弔

次の方が御逝去になりました。謹しんで
お悔み申し上げます。

吉田幾太郎君 (名古屋南) 3月20日

安藤 俊三君 (名古屋) 4月 4日

国際ロータリー第360地区ガバナー事務所

原 享 二

飯田市常盤町 飯田商工会館内

電話 0265 (23) 6262 〒395

地区幹事 後 藤 新 三

事務員 石 原 陽 子